金子みすゞさんの心　　vol.19

2025年10月
野毛山幼稚園

明るい方へ　　金子みすゞ

明るい方へ
明るい方へ。
一つの葉でも
日のもるとこへ。
やぶかげの草は。
明るい方へ
明るい方へ。
はねはこげよと
灯のあるとこへ
夜とぶ虫は。
明るい方へ
明るい方へ。
一分もひろく
日のさすもるとこへ。
都会に住む子らは。

植物も昆虫も人間も、生きているものはみんな光を求めて生きています。
例えば、虫が部屋に入ってしまったとき、電気を消すと明るい方へ飛んでいきますね。

みすゞさんは、どうしてこの当たり前のようなことを詩にしたのでしょうか。
みすゞさん自身の生涯の中では、さまざまな困難があり、大変なことがたくさんありましたから、どのような時にも前向きに希望を失わずに生きていこう…と言うことを伝えたかったのではないでしょうか。
きっとみすゞさんも生涯、光を求めて生き続けたのだと思います。 ……だからこそ、私たちをも「明るいほうへ」導こうとしてくれている気がします。

真っ暗な中に光が見えるとほっとするものです。まわりが暗ければ暗いほどその光は明るく感じます。
「光」は進む道を照らし、案内してくれます。そして、危険を知らせてくれます。

私たちにとってかけがえのない「光」とは何でしょう。
イエスさまは世の光としてお生まれになりました。 光であるイエスさまはいつも私たちのそばにいて導いてくださっています。
闇が多い現代、しっかりと軸がないとぶれてしまいます。
　イエスさまに出会ったわたしたちは、子どももおとなも光の子です。

どのような時も希望を忘れないでイエスさまの示す道を歩んでいきたいと思います。

みんなみんなひかりのこども　サンパウロ
絵 しんのめぐみ